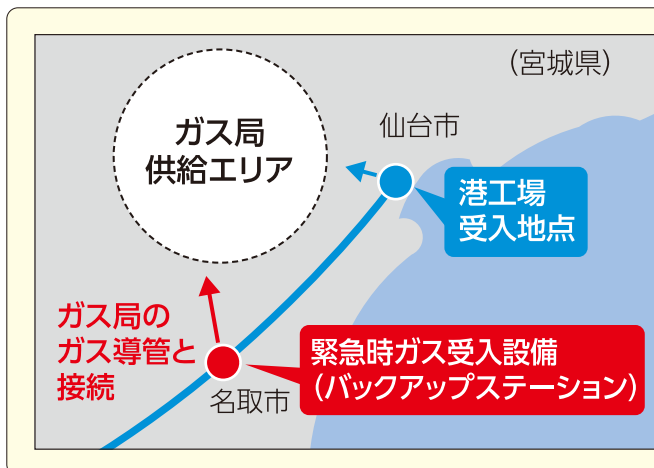
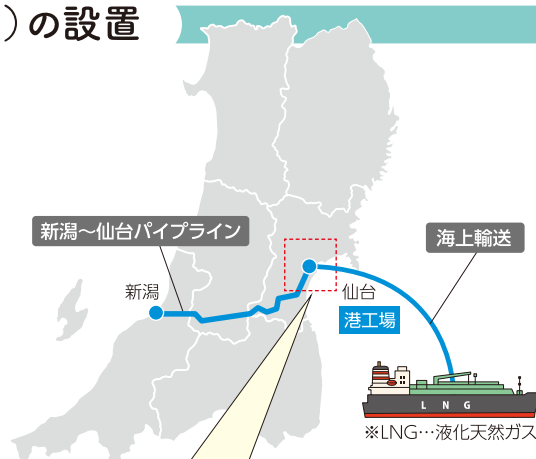


都市ガスを安全かつ安定してお届けするため、日々の保安対策から地震対策にいたるまで、常に万全の体制を整えています。

緊急時ガス受入設備（バックアップステーション）の設置

ガス局では、新潟からのパイプライン沿線に、緊急時に使用するガスの受入設備を設置し、供給リスクの軽減を図っています。

大規模災害発生時などでも津波の影響を受けない内陸側に、ガスの受入設備を設けたことにより、港工場からガスの供給ができなくなった場合でも、市内各所にあるガスホルダーに貯蔵してあるガスに加え、本設備からのガスの受け入れにより途切れることなく供給を続けることが可能となっています。



緊急時ガス受入設備（バックアップステーション）▲

供給設備の安全対策

〈ガス供給監視システムの充実〉

全てのガス供給所とガバナ（ガス圧力を調整する設備）の稼働状況などの情報を、24時間体制で集中監視しています。万が一の際には、このシステムによってブロック毎に設置している地震計による地震の大きさや供給中のガスの圧力などを確認し、その情報をもとに被害の状況などを想定し、緊急対応を行うとともに、二次災害を防止します。



幸町コントロール室▲

〈ガス導管の耐震化〉

ガス局では、耐震性・耐腐食性に優れたポリエチレン管の導入を進めてきました。ポリエチレン管は東日本大震災においても被害がなく、早期のガス復旧に寄与しました。引き続き計画的に入れ替えを進め、災害に強い導管網を構築していきます。



ポリエチレン管▲



敷設作業の様子▲

ガス導管のブロック化

供給区域を12のブロックに分割することにより、災害時には被害が著しいブロックのみガス供給を停止し、被害が少ないブロックは継続してガスを供給できるようにしています。

供給を停止した際は、復旧を迅速に行うため、供給停止ブロックをさらに細分化し、修繕の終わったエリアから順次ガス供給を再開します。



ガス導管ブロック図▲

導管漏えい検査

埋設導管のガス漏れの有無を、約4年に1回の割合で検査しています。(ポリエチレン管を除く)

また、橋に架かる導管や共同溝の導管についても定期的な検査を実施しています。



導管漏えい検査▲

安定供給のために

ガスホルダーはガスの需要が少ないときには貯めておき、多いときには送出するよう都市ガスの安定供給のため、効率的な稼働を図っています。こうした供給設備は、職員が定期的に巡回点検を行うなど、安全確保と適正な維持管理に努めています。

球形ガスホルダー(100,000m³)

幸町供給所	3基
泉供給所	1基
茂庭供給所	1基
多賀城供給所	1基
港工場	1基
計	7基



幸町供給所ガスホルダー▲

災害対策訓練

実践的訓練を定期的に行い、防災体制の向上を図っています。

また、毎年「市民防災の日」には、地震などに伴う被害を想定した災害対策本部訓練を実施し、緊急対応力の向上に努めています。



災害対策訓練の様子▲

他工事*管理

他工事に起因するガス導管の損傷事故などを防止するため、ガス管に近接する他工事がある場合は施工業者と協議を行うとともに、現場パトロールで指示や要請を行っています。

*ガス工事以外の工事のことをいいます。



現場パトロールの様子▲

導管網の整備

現在都市ガスをお使いいただいているお客さまは約34万戸、ガス導管網は4市2町1村にわたり、本支管の長さは約4,400kmに及んでいます。ガス局では安全性を考慮し、ガス導管を耐震性・耐腐食性に優れたポリエチレン管に順次切り替えています。また、導管を道路に埋設する際には、「浅層埋設」などを利用し、工事期間の短縮や周辺住民の皆さまに与える影響の緩和に努めています。